

## 開運厄除け節分祭（星祭り）1月31日（最終日曜） 午前11時 （白星も黒星も今年1年が良い年になるように祈願致します）

星祭りは1300年以上も昔から続いている密教祈祷の一つです。人は皆、生まれながらにして各々が定められた星を持っており、人の運命、宿命はその人の持つて生まれた星と巡り来る星（令和3年六白金星丑年）とのかねあいと個々の運勢の強弱、更に日々の生活で積んだ善根功德や悪業等あらゆる条件の結びつきで決まるものです。



特に前厄、本厄、後厄で凶や大凶の人、年男年女の方などは“星祭り”で運勢を開いて更に良い年にしましょう。

大難は小難に、小難は無難にする祈祷です。従ってその年の変わり目である節分にその年の星を祀って、大凶の人は勿論、半吉、大吉の人も更に良い年になるように祈祷するものです。

今年は、例年とは趣を変え、コロナ禍で密を避ける為、景品や昼食のお接待は中止致します。どうかご了承下さい。

星祭り札のお申し込みは、札書きの関係上、申し込みのあった方からお札を書き、21日間精進潔斎して拝みますので、お早めに（1月10日）お送り下さい。よろしくお願い致します。

### — 厄年に当たられる方へ —

昔は厄年に、餅をついてみんなに配りました。これは「徳」を積んで人に喜んでもらい「厄」を落とすという意味からです。当山は、星祭りの日に厄落としをされたい方を募集致しております。

厄落としの方の本尊様へ献金（お供物の餅、菓子、果物等）の募集を募っております。それで得られた餅、菓子、果物等をご本尊様にお供え致し、厄落としを致します。

ご希望の方は、当山へお申し出下さい。 合掌

|   |              |
|---|--------------|
| 男 | 令和3年の厄年      |
|   | 平成 9年 (25歳)  |
|   | 昭和 55年 (42歳) |
|   | 昭和 36年 (61歳) |
| 女 | 平成 15年 (19歳) |
|   | 平成 元年 (33歳)  |
|   | 昭和 60年 (37歳) |
|   | 昭和 36年 (61歳) |

### 本四国霊場巡拝に思う

2019年、祖聖大寺女性部で四回に分けての本四国霊場遍路がありました。

昨年はコロナの影響で遍路は中止せざるをえませんでした。私も過去15年ほど本四国巡拝をさせて頂きました。

振り返れば色々な事がありました。徒歩で巡拝で横峰寺に向かう途中、ある民家のご婦人から横峰寺で行き倒れのお遍路さんの供養にと賽銭をことづかり、そのしるしに寺で御守りを買って、帰りしな彼女に渡した事。



また、37番岩本寺から39番円光寺を徒歩参拝の折り、宿を出て足摺岬38番金剛福寺まで87kmの行程。その道中ある人からあめ玉のお接待を受けました。その方は無言で只、笑みを浮かべその場を立ち去られました。後からその方はお大師様と感じた事。途中の漁村で昼食をとった時、そこで店の親父さんから心温まるお接待を受けた事。足摺を打って宿毛に向かう山中で人がいない事の寂しさに襲われ、そこにいた工事人の姿が見え有り難かった事。目的地を間近に控えて、そこまでの行程が吹雪に遮られとても長く感じられた事。等等。

この徒歩遍路で人は一人では生きていけない。誰かに支えられて生きている。遍路とは、人生そのもの。まさに“人生は遍路なり”本四国遍路は、修行の道場。とにかく前を向いて歩く事と思います。

合掌